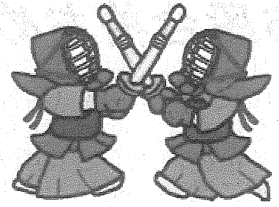


あまけんれん

平成27年9月発行

文責：泉 眞喜夫



2年連続の準優勝！ 第70回県民体育祭熊本大会

9月13日(日)に熊本市浜線健康パークで行われた熊本県民体育祭熊本大会剣道競技において、天草市チームは、悲願の初優勝こそ逃しましたが、昨年に引き続き決勝戦まで勝ち進み、準優勝という輝かしい成績を収めることができました。

初戦の相手は球磨郡でした。先鋒の鳥羽瀬選手は、立ち上がり小手を先制されましたが、得意の面を決めて引き分けに持ち込み、次鋒の梅田選手は、引き胴を取られましたが、その後は粘って1本負けでとどめ、中堅の高濱選手につながりました。高濱選手は、見事な胴と面を決めての2本勝ち。副将の迫内選手が面で1本勝ち。大将の檜木選手が見事な面で先制し、この時点で天草チームの勝利が決定しました。次の準々決勝の相手は玉名郡でした。先鋒の鳥羽瀬選手は惜敗しましたが、梅田選手が奮起して面を2本決めて勝ち、高濱選手も粘り強く戦い、面を取られましたが、面を決め相手の反則もあり勝利、副将、大将は粘り強く頑張っ



準優勝に輝いた天草市チーム

共に引き分けに持ち込み、結局、2対1、2引き分けで勝利し、準決勝へ駒を進めました。準決勝の相手は、八代市でした。この試合では、先鋒に、鳥羽瀬選手に替わって鶴本選手を起用しました。鶴本選手は、起用に見事こたえてくれ、面と小手の2本勝ちを収めました。梅田選手は、強い相手でしたが、1本しか取られずに次につないでくれました。続く3選手は、強敵相手に気合いの入ったすばらしい試合を展開してくれ、大将檜木選手が引き分けた時点で本数勝ちにより決勝進出が決定しました。天草体育協会の役員さんたちも応援に駆けつけ、多くの応援者が見守る中、決勝戦が始まりました。相手は、開催地の熊本市でした。熊本市は、開催地のチームでもあり、例年以上に選手強化を図り、昨年天草市に敗れていることもあり、雪辱・必勝の気構えで臨んできました。結果的には0対5で敗れ、悲願の初優勝には手が届きませんでした。選手諸君は健闘し、内容的には接戦でした。

また、上天草市チームは、初戦八代市と対戦し、先鋒の喜多選手が一本勝ちしましたが、後が続かず、1対4で敗退しました。次年度の勝利を目指して、若手の奮起を期待します。

今回、私は監督という立場でしたが、昨年と同じ準優勝という結果を残すことができ、どうにか責任を果たすことができ、安堵すると共に、うれしい気持ちで一杯でした。忙しい仕事の合間を縫って稽古に参加し、大会でも精一杯頑張ってくれた選手諸君はもちろん、稽古相手になってくれた金子十郎君を始め、天草剣道連盟の会員の皆さん、福本会長、花里前会長を始め、応援に来て頂きました多くの皆様には、大変感謝しております。ありがとうございました。反省会(兼準優勝を祝う会)は大いに盛り上がりました。来年度に向けての強化方策等についても意見交換が行われていましたが、別欄にて、私見を述べたいと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

県民体育祭の初優勝を目指して稽古会の充実を図ろう！

県民体育祭において、3年連続のベスト4以上、連続準優勝という成績を残すことができましたが、決勝戦の結果からも明らかなように、優勝するには、まだまだレベルアップが必要だと感じました。一人一人のレベルアップを図るには、お互いに切磋琢磨して稽古する以外にはありません。まずは、持ち回りで行われる合同稽古会の充実があります。年間計画に入っていますが、多忙等により忘れて時期を逃すこともあると思います。担当地区の理事さんは、ご苦勞ですが、稽古会が近づいた時期に、自分の地区の会員に参加を要請するのはもちろんですが、他地区の理事にも参加を呼びかけていただくように連絡することにより、少しでも参加者を増やすことができるのではないかと思います。また、毎週、主に火、水に天草市武道館で行われている剣道連盟の稽古会に参加して、腕を磨くことをお願いします。私も、努めて参加するようにしていますが、参加者が少なく、固定化しています。参加しにくい条件(時間帯が遅い、特定の人との稽古時間が長い、稽古内容に魅力がない、人間関係等)も考えられますが、改善できるところは改善していきたいと思いますので、ご意見をお寄せください。その他、少年剣道の指導者の方は、子どもたちの指導が終了後、指導者同士で稽古時間を確保するなどの工夫をすることにより、レベルアップを図ることができると思います。頑張ってください。